

書誌第105号追

九州沿岸水路誌

追補第1

令和3年（2021）8月6日発行



Japan Chart 150th

海上保安庁

九州沿岸水路誌

追補第1

この追補は、令和3年3月刊行の九州沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和3年6月30日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和3年8月6日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

表紙：「新印章について」

令和3年、日本の海図の歴史が始まり150年の節目の年を迎えました。新たな歴史を刻む第一歩として、今年から新印章を付した水路図誌の刊行を始めました。

漁業用海図 日韓漁業協定の発効を契機に、次の情報を記載した漁業用海図が刊行されている。

- (1) 「領海及び接続水域に関する法律」に基づく領海の基線及び領海（限界）線
- (2) 「排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律」に基づく線（FW1009を除く）
- 5 (3) 「漁業に関する日本国と大韓民国との間の協定（平成11年1月22日条約第3号）」に基づく線
- (4) 「漁業に関する日本国と中華人民共和国との間の協定（平成12年6月1日条約第2号）」に基づく線（FW162、FW196を除く）

漁業用海図は、次のとおり

海図番号	図名	縮尺
FW 162	日本海西部	1/120万
FW 196	関門海峡至釜山港	1/25万
FW 210	長崎至厦門	1/150万
FW 1009	日本及近海	1/500万

10

第8章 海難防止

海難

九州沿岸及び南西諸島では、夏季及び秋季の台風下における海難の発生が他の海域に比べ非常に顕著である。また、外国船海難の割合が多いのもこの海域の特徴である。

15

海難多発海域

海域名	種別	記事
関門港周辺	中型～小型船の衝突	各種船舶の海難が多い。
倉良瀬戸	小型船の衝突 中小型船の乗揚	浅瀬が多く、初航者は注意が必要。特に地ノ島から鐘ノ岬間の海域では、各種船舶の乗揚げが多い。
福岡湾	中小型船の衝突・乗揚 小型船の転覆	通航船舶隻数が多く、各種船舶の海難が発生している。
玄界灘	大型～小型船の衝突	漁船同士あるいは漁船と貨物船の衝突が多い。
呼子周辺	小型船の衝突 中小型船の乗揚	水路が屈曲し、離陰礁がある。 貨物船及び漁船の海難が多い。
平戸瀬戸	中小型船の衝突・乗揚	浅瀬が多く、水路が屈曲しており、貨物船及び漁船の海難が多い。 初航者は注意が必要。
佐世保～長崎沿岸	小型船の衝突・乗揚	各種船舶の海難が多い。
長崎港周辺	中小型船の衝突 小型船の乗揚・転覆	プレジャーボート等及び漁船の海難が多い。
五島列島周辺	小型船の衝突・乗揚	漁船の海難が多い。
三角及び天草上島南部	小型船の衝突・乗揚	プレジャーボート等及び漁船の海難が多い。
八代海	大型～小型船の衝突・乗揚	各種船舶の海難が発生している。 浅瀬が多く、初航者は注意が必要。
牛深周辺	小型船の衝突・乗揚	プレジャーボート等及び遊漁船の海難が多い。
沖縄本島南部	中小型船の乗揚	珊瑚礁や浅瀬が多く、経験者でも注意が必要。
宮古島北部		
石垣島南部		

目標

地物名	概位	備考
姫島	33° 34.4' N 130° 02.9' E	高さ187m、樹木が多く、北西側は険しい。島の周囲は距岸約200mの間、岩礁となっている。
神集《カシワ》島	33° 32.2' N 129° 58.4' E	高さ83m、周囲は距岸約200mの間、岩が散在している。島の北西端のサンドスピット(細長く突出した砂の州)の先端に灯台がある。
高島	33° 28.6' N 129° 59.4' E	高さ170m、南東端に松林がある。北東側にがけがある。
鏡山〔領巾振山〕	33° 25.8' N 130° 01.6' E	高さ284mの台形で、その西肩に顕著な展望台がある。

針路法 (第11図)

視界が不良でない限り、入港は困難ではない。ただし、定置網があるので注意を要する。

5

第11図 唐津湾入港針路法及び姫島曾根・筒瀬避険線図 【図の差し替え】



関門港方面から西航する場合

筑前大島灯台 (33° 54.6′ N 130° 24.5′ E) 正横約 3M後、針路 225° で烏帽子島 (33° 41′ N 129° 59′ E) の南東方に向かい、烏帽子島灯台 (33° 41.4′ N 129° 59.0′ E) 正横約 3M後、針路 190° で高島に向首する。

5 西方から東航する場合

針路 066° で烏帽子島灯台の北西方に向かい、加唐島《カカラシマ》灯台 (33° 37.0′ N 129° 51.7′ E) 正横約 3M後、針路 117° で姫島 (33° 34′ N 130° 03′ E) に向かい、神集島 (33° 32′ N 129° 58′ E) 東端正横後、針路 190° で高島に向首する。

① 唐津港東港へ向かう場合

10 針路 190° で進み、女瀬鼻《メセハナ》灯台 (33° 31.7′ N 129° 57.4′ E) 正横 (神集島南端との一線) 後、針路 216° 大島の頂 (176m、33° 28.8′ N 129° 57.8′ E) に向首し、**湊浜港 1 号防波堤灯台 (33° 31.5′ N 129° 57.6′ E)** の正横付近から針路 191° 鳥島の頂 (高さ 34m、33° 27.9′ N 129° 58.6′ E) に向け唐津港高島西防波堤突端 (33° 28.3′ N 129° 59.2′ E) 正横後適宜の針路で入港すればよい。

15 ② 唐津港西港へ向かう場合

湊浜港 1 号防波堤灯台 の正横付近から針路 233° **唐房漁港** へ向首し、港界付近から適宜の針路で入港すればよい。

また、港界付近から西港の ENEOS グローブガスターミナルに至る水路 (水深 13mに掘下げ済み) の西側は、2 灯浮標によって表示されている。なお、夜間、東港の灯火を西港と誤認して、大島～高島間へ航行しないように注意を要する。

20

姫島の西方から加布里《カブリ》港へ向かう場合

姫島《ヒメシマ》曾根 (33° 33.1′ N 130° 03.2′ E、水深 1.8m) 及び筒瀬 (33° 32.5′ N 130° 06.0′ E、水深 2.7m) に十分注意する必要がある。

25 加唐島 (33° 36′ N 129° 51′ E) 北端と小川島 (33° 36′ N 129° 54′ E) 北東端とを船尾一線 295° に見て針路 115° で進めば、姫島曾根の南南西方約 0.4Mの所を通過する。

また、鷹島灯台 (33° 33.6′ N 129° 54.2′ E) を正船尾に見る針路 098° で進めば、姫島曾根の南方約 0.6Mの所及び筒瀬の南方約 600mの所を通過する。

姫島～仏崎間を通航し加布里港へ向かう場合

30 港口の南角の配《ハイ》埼 (33° 30.9′ N 130° 06.0′ E) を 155° に見て進み、港口北角の鷲ノ首 (33° 32.8′ N 130° 07.0′ E) を正横に見たならば、針路 085° として港奥の城山山頂 (33° 32.5′ N 130° 09.5′ E、高さ 123m) へ向けて進み、適宜の所に錨泊すればよい。このとき鷲ノ首を正横に見る手前で左転すると、前記の筒瀬に乗揚げるおそれがあるので注意を要する。

35 **加布里港** (33° 32′ N 130° 08′ E) (海図W188) (JP KAF)

港種 港則法適用港

概要 唐津湾東部にあり、港域内には**船越**、**加布里**及び**深江**の各漁港がある。この港は、南西～北西風

気象 夏季は一般に南東の風が多く、冬季には北西又は南西の風が多い。港内は年間を通じて比較的静穏であるが、港口が北東に開いているため、北寄りの風が強吹すると大波が港内に侵入し荷役不能（冬季に多く、年間4～5日という。）又は錨泊困難となる。

海象 冬季、北東～北西の季節風が吹くとき、大島～神集《カシワ》島周辺海域で、三角波が発生する。

5 **航泊制限** 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は港内に停泊中の同タンカー（タンク船含む）から30m（LPG船は50m）以内の海域に立ち入ることが禁止される。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間においても容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

10 **錨地** 西港内は水深7～15m、底質細砂及び炭粉混じりの硬い泥で錨かきが良く、相賀《オウカ》埼によって多少北寄りの風を防ぐことができる。東港は水深7～9m、底質細砂で錨かきが良く、北西風時には西港よりも錨泊に適するが、台風時の避難錨地とはなり得ない。

検疫錨地は、大島北端の北西方0.7M付近に指定されている。

一般船舶の錨地は

西港錨地（概位 33° 28.8' N 129° 56.8' E）：唐津港西港東防波堤西灯台（33° 29.3' N 129° 57.4' E）から223° 1,300mの点を中心として半径100mの海面

15 港湾施設

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
商港 ふ頭	東港岸壁	33° 28.2' N 129° 57.9' E	230	9	10,000×1	長さには取付部を含む。
	東港フェリー岸壁	33° 28.2' N 129° 57.8' E	115	4.5	1,000×1	
LPG大型船専用棧橋		33° 28.9' N 129° 57.4' E	231.5	12.5	57,000×1	
LPG小型船専用棧橋		33° 28.7' N 129° 57.5' E	70	6	1,200×1	
大島1号ドルフィン岸壁		33° 28.6' N 129° 57.5' E	110	5	5,000×1	
大島2号ドルフィン岸壁			110	5	3,000×1	
大島岸壁		33° 28.5' N 129° 57.6' E	360	5.5	1,000×1	
水産 ふ頭	5号岸壁	33° 28.4' N 129° 57.3' E	260	7.5	750×3	
	4号岸壁	33° 28.3' N 129° 57.3' E	110	5	750×1	
	3号岸壁	33° 28.2' N 129° 57.4' E	240	4	750×2	
	2号岸壁		90	3	450×1	
妙見 ふ頭	妙見2号岸壁	33° 28.4' N 129° 57.1' E	200	2	2,000×2	
	妙見3号岸壁	33° 28.5' N 129° 57.1' E	270	6.5～7	5,000×2	
	妙見4号岸壁	33° 28.7' N 129° 57.0' E	240	11	30,000×1	
	妙見5号岸壁	33° 28.6' N 129° 56.9' E	130	7.5	5,000×1	
	妙見6号岸壁		90	5.5	2,000×1	

（注意）商港ふ頭東港岸壁については、耐震岸壁となり、2016年4月から暫定運用されているが、前面泊地の水深が7mのため、浚渫を2020年まで実施する予定である。

最大入港船舶 2019年9月19日、客船 飛鳥Ⅱ（50,142t、喫水7.8m）が妙見ふ頭に着岸した。

20 **台風・津波等対策** 本港では、異常気象時、港長から在港船舶等に対し、各船舶がとるべき措置について、行政指導及び港則法に基づく勧告等がなされることから、留意すること。（問合せ先：唐津海上保安部）

る「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

投錨禁止 名村造船所2号岸壁・4号岸壁(33° 20.2' N 129° 50.1' E)の前面は投錨禁止区域に指定されている。

錨地 検疫錨地は白岩鼻(33° 20.9' N 129° 48.7' E)の南南西方0.6 M付近に指定されている。

5 **港湾施設**

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
久原	北3号岸壁	33° 18.9' N 129° 49.2' E	185	10	15,000×1
	北2号岸壁	33° 18.8' N 129° 49.1' E	260	6~8	5,000×2
	南1号岸壁	33° 18.6' N 129° 49.0' E	270	5.5	2,000×3
	南2号岸壁	33° 18.6' N 129° 49.2' E	260	7.5	5,000×2
	南3号岸壁	33° 18.6' N 129° 49.3' E	370	7.5~10	15,000×2
七ツ島	北1号岸壁	33° 20.5' N 129° 50.5' E	154	9	10,000×1
	北2号岸壁	33° 20.4' N 129° 50.4' E	260	13	40,000×1 クレーン
	南1号岸壁	33° 19.7' N 129° 50.2' E	260	7.5	5,000×1

福島島の南西側に3シーバースがあり、シーバース灯が設置されている。

架橋 牧島(33° 18.5' N 129° 50.0' E)西岸とその対岸の岸壁との間に伊万里湾大橋(33° 18.2' N 129° 49.8' E、高さ約20m)がある。

架空線 牧島のウートー鼻の南方230m付近から対岸の久原南3号岸壁に至る架空線(高さ52m)がある。

10

台風・津波等対策 本港では、異常気象時、港長から在港船舶等に対し、各船舶がとるべき措置について、行政指導及び港則法に基づく勧告等がなされることから、留意すること。(問合せ先:伊万里海上保安署)

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
伊万里海上保安署(港長)	0955-28-3388	門司植物防疫所福岡支所伊万里出張所	0955-28-2573
門司税関伊万里税関支署	0955-28-2514		

引船・通船 引船及び通船が数隻ある。

15

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

修理 修理の可能な造船所がある。

医療施設

名称	電話番号	備考
伊万里有田共立病院	0955-46-2121	

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (m)	水 深 (約m)	係 船 能 力 (D/W×隻)	備 考
小江公共岸壁	32° 45.4' N 129° 48.5' E	370	8~10	15,000×2	
小江係船くい	32° 45.5' N 129° 48.7' E	200	10	15,000×1	
小江東ふ頭岸壁		60	4.5	700×1	
神ノ島-5.5m岸壁	32° 43.5' N 129° 50.0' E	360	5.5	2,000×4	
皇后ふ頭-5.5m岸壁	32° 43.4' N 129° 50.1' E	90	5.5	2,000×1	
皇后ふ頭-5.5m岸壁		180	5.5	2,000×2	
皇后ふ頭-7.5m岸壁		390	7.5	5,000×3	
丸尾-5m岸壁	32° 44.8' N 129° 51.8' E	300	4	500×4	漁船用
中ノ島突堤-5m岸壁	32° 44.9' N 129° 52.1' E	255	5	500 t 級	漁船用
元船-5.5m岸壁	32° 44.8' N 129° 52.1' E	90	5	2,000×1	
元船-7.5m岸壁		130	6	4,000×1	
出 島 岸 壁	32° 44.6' N 129° 52.2' E	212	9	8,000×1	
松が枝岸壁	32° 44.2' N 129° 52.1' E	360	12	100,000 t ×1	
小ケ倉《コガクラ》-10m岸壁 (北1号)	32° 42.3' N 129° 50.7' E	175	10	10,000×1	
小ケ倉-7.5m岸壁 (北2号)		100	7.5	5,000×1	
小ケ倉-5.5m岸壁 (北3号)		100	5.5	2,000×1	
小ケ倉-12m岸壁 (西)	32° 42.2' N 129° 50.5' E	240	12	30,000×1	コンテナ クレーン
小ケ倉-10m岸壁 (西)		170	10	15,000×1	
小ケ倉-7.5m岸壁(南)	32° 42.1' N 129° 50.6' E	130	7.5	5,000×1	
小ケ倉-10m岸壁(南)		170	10	12,000×1	
土井首《ドイノクビ》 -5.5m 岸壁	32° 41.8' N 129° 50.4' E	180	—	2,000×1	
深堀-7.5m岸壁	32° 41.5' N 129° 49.4' E	260	7.5	5,000×2	

係船浮標 港内には多数の係船浮標がある。

最大入港船舶 2019年6月29日、旅客船 スペクトラム・オブ・ザ・シーズ (169,379 t、喫水 8.8m) が、松が枝岸壁に着岸した。

- 5 **台風・津波等対策** 本港では、台風・津波襲来時等、異常気象時における事故を未然に防止するため、長崎港台風等対策委員会が設置され、在港船舶等に対し、異常気象時における各船舶がとるべき措置を定めている。また、異常気象時においては、港長から各船舶がとるべき措置について、港則法に基づく勧告等がなされることがあるので留意すること。

牛 深 港 (32° 12′ N 130° 02′ E) (海図W200, W1241) (JPUBK)



(2019年10月撮影)

港種 港則法適用港

5 概要 天草下島の南端に位置し、港域内西部に牛深漁港がある。海岸は深い入江を有する天然の良港で、古くから南蛮貿易海運業の中継寄港基地として栄え、現在は流通拠点漁港となっている。また、港内が静穏なため長島海峡を北航する船舶が潮待ちに利用する。

目標

地物名	概位	備考
遠見山	32° 12.3′ N 130° 01.5′ E	高さ217m、アンテナ群がある。
無線塔	32° 11.9′ N 130° 01.6′ E	灰色、NTT屋上

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(t×隻)	備考
-5m 台場岸壁	32° 11.7′ N 130° 01.8′ E	75	5		

10 この他、2～4mの物揚げ場及び岸壁が複数ある。港口東岸から西南西方へ延びる台場防波堤と西岸から東方へ延びる崎町防波堤に囲まれた船だまりは、200～300tの船舶が利用している。

気象 冬季には北北東の風が多く、夏季には東～南の風が多い。年間を通じての主風向は東北東である。

15 針路法 長島海峡を南航して入港する場合は、針路315°で勝埼(32° 12.0′ N 130° 02.7′ E)に向首して進航し、次いでボラ山山頂にある牛深港灯台(32° 11.5′ N 130° 01.2′ E)を船首目標として針路261°に変針して港内に至る。この時、印度瀬(32° 11.4′ N 130° 02.6′ E)の北側を航過することとなるため同瀬の岩礁を早期に発見する必要がある、特に夜間は注意を要する。

台風・津波対策 この港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、牛深港船舶津波・台風対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：天草海上保安署)

20 架橋 瀬戸脇瀬戸を横断する通天橋(高さ約16m)及び長手ノ鼻から下須島を經由し崎町岸壁付近に至

る牛深ハイヤ大橋（高さ17～18m）がある。

架空線 通天橋西側に、瀬戸脇瀬戸を横断する架空線（高さ約19m）がある。

海事関係官公署

官公署名	連絡先
天草海上保安署	0969-73-4999

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

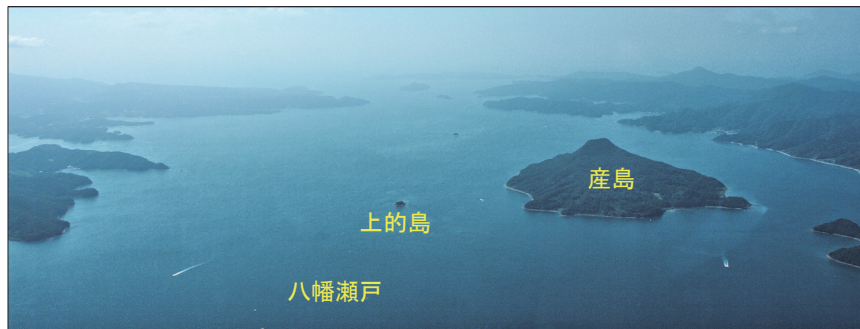
5 海上交通 蔵之元〔長島〕との間のカーフェリー便（577 t級）がある。

航行上の注意 牛深漁港に通じる瀬戸脇瀬戸（32° 11.3′ N 130° 01.4′ E）は、水路の幅が最狭部約30mで瀬戸の事情に通じた100 t以下の漁船などが通航している。

長島海峡（32° 13.4′ N 130° 06.3′ E）及び

八幡瀬戸（32° 16.6′ N 130° 10.3′ E）（海図W178）

10 概要 長島海峡は、下須《ゲズ》島（32° 11′ N 130° 02′ E）南端と長島南西端の長崎鼻との間を南口として北東方へ通じる水道であり、八幡瀬戸は、西岸寄りにある産《ウブ》島以北で、天草下島東端の横島と獅子島の北東端間を東口とする水道である。



長島海峡を北口から望む (2019年10月撮影)



長島海峡を南口から望む (2019年10月撮影)

八代港 (32° 31' N 130° 32' E) (海図W1243) (JP YAT)



(2019年11月撮影)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、家畜検疫の港、植物防疫の港、重要港湾

5 **概要** 八代海東岸の北部にあり、前川の河口港から発展した港である。この港は八代工業地帯製品の積出港である。大島南西方に大型船用の岸壁がある。さらに大島東方の埋立地に石油配分基地が造成されている。南西～西の風が強いときには港内に波浪が侵入する。

目標

地物名	概位	備考
大島	32° 32.4' N 130° 33.2' E	高さ84m、埋立により陸続きになった島。顕著
タンク	32° 31.6' N 130° 32.2' E	灰色、セメント用

10 **水路** 南方から大築島と小築《コツク》島、根島との間を通り港内に至る水路は長さ約5M、幅約300m、水深12m(掘下げ済)であり5灯浮標で表示されている。この水路が八代港に至る主な水路になっているが、大築島の北方は水路をはずれるとすぐに水深10m以浅となるので注意を要する。

新港内は内港と外港に分かれ、上記水路から分岐して内港に至る水路は水深約5～8mで、3灯浮標で表示されている。

15 石油配分基地への水路は大島の北方約600mに入口があり、北防砂堤(高潮時に水没する、北西端に灯台がある)南防砂堤(高潮時に水没する)で囲まれ幅約40m、水深約5mに掘下げられている。泊地内の水深は5～6mで浅い。

針路法 八代港へ接近する針路法は、「長島海峡～八代海」参照。

20 大築島～小築島間の水路を通過したならば、三ツ島の南島(32° 31.8' N 130° 31.4' E)と八代港防波堤灯台(32° 31.4' N 130° 32.0' E)との中間に向けて進航し、八代港三ツ島南灯浮標(32° 31.3' N 130° 31.4' E)を左に見て内港入口に接近すればよいが、南北に流れる潮流があるので憩流時を選んだほうがよい。なお、三ツ島の東岸と大築島の東端とを結ぶ線は、大築島北北東方の浅所の避険線になる。

錨地 検疫錨地は、大築島の南西方1M付近に指定されている。

港内は水路を除き、水深が浅く漁さく等の障害物が多数設置されているため、錨地としては不適當である。

危険物積載船の錨地は、32° 27.6' N 130° 28.7' Eを中心として半径600mに指定されている。

25 **水先** 島原海湾水先区水先人会に要請する(第1編総記第6章水先参照)。

- 1 ベイパイロット乗船場所 戸島灯台より 184° 2.2 海里 (32° 09.7' N 130° 04.7' E)
- 2 ベイパイロットサービス時間 24 時間
- 3 八代港ハーバーパイロット乗船場所 (日出～日没)
 錨泊船 航路 No. 1 ブイ 0.5 海里西 (32° 27.0' N 130° 29.0' E)
- 5 直航入港船 航路 No. 1, 2 ブイ 1 海里南 (32° 25.9' N 130° 29.2' E)

港湾施設

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
外 港	G0 岸壁	32° 31.6' N 130° 32.2' E	410	10.5	220,000×1	クルーズ船専用
	G1～G4 岸壁	32° 31.9' N 130° 32.4' E	650	10～12	15,000×4	
	G5・G6 岸壁	32° 32.2' N 130° 32.6' E	480	12～13	30,000×2	G6 岸壁にコンテナ クレーンがある。
	G11～G12 岸壁	32° 31.5' N 130° 32.3' E	260	5～7	5,000×2	
	G13 岸壁		165	9	10,000×1	
内 港	N1～N8 岸壁	32° 30.5' N 130° 33.8' E	720	5	2,000×8	
	N9～N10 岸壁	32° 30.7' N 130° 33.3' E	260	7.5	5,000×2	
	-4.5m 岸壁	32° 30.7' N 130° 34.0' E	60	4.5	500 t × 1	

この他、会社専用の係船施設がある。

注意 大築島以北の海域各所に多数の漁さくがあり、レーダによく映るものの高潮のときは没するものもあるので注意を要する。

- 10 **最大入港船舶** 2015 年 7 月 23 日、旅客船 クァンタム・オブ・ザ・シーズ (168,666 t、喫水 8.9m) が外港岸壁に着岸した。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
八代海上保安署 (港長)	0965-37-1477	福岡検疫所 水俣・八代出張所	鹿児島検疫所支所へ連絡 099-222-1473
長崎税関八代税関支署	0965-37-1603	熊本県 八代港管理事務所	0965-37-0338
門司植物防疫所 鹿児島支所八代出張所	0965-37-1544	福岡出入国在留管理局 熊本出張所	096-362-1721

- 15 **台風・津波対策** 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、**八代港等**船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：八代海上保安署)

医療施設

名称	電話番号	備考
労働者健康安全機構熊本労災病院	0965-33-4151	

引船 引船がある。

修理 修理できる造船所がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

中甌島側から西方へ約900m延びる礁脈の西側にある沖ノ瀬上《オキノセガミ》(水上岩、31° 47.4′ N 129° 48.5′ E、高さ5m)は、好目標になる。下甌島側から東方へ約300m延びる礁脈は、全部低潮時に干出する。中甌島と下甌島を結ぶ甌大橋(令和2年8月29日開通)がある。

5 **海象** この方面では春先を中心として、多くは穏やかな晴天時に数十分の周期で海面の急激な振幅があり、この地方では「アビキ」と呼んでいる。

錨地 上甌島に西ノ浦、浦内湾、中甌浦及び東ノ浦、下甌島に手打港及び長浜浦などがあるが、いずれも台風時の泊地には適さない。

鷹島(31° 26.9′ N 129° 44.0′ E、最高頂68m)は、下甌島南端の南方約10.5Mにある五つの小島の一群で、南、北方向からは三つの島のように見える。

10 **鷹島**の南方には水上岩(31° 26.4′ N 129° 44.1′ E、高さ1.9m)があり、その南方岩と小島群とのほぼ中間に北方岩(干出岩)があって最高高潮時に洗われる。各島間の水道は通れない。

津倉瀬(31° 18.5′ N 129° 44.4′ E、最高頂31m)は鷹島の南方約8.5Mにある4水上岩で、南、北方向からは2突岩、東、西方向からは3岩のように見える。

15 **海上交通** 列島内諸港を経由して串木野港に至るカーフェリー便(940t)及び定期高速船便(197t)、川内港に至る定期高速船便(197t)がある。

漁業 甌島列島の北西方海域(距岸6~45M)で毎年7~11月の間及び下甌島西岸の中央部付近の距岸約4M以内で、シイラ漬け漁業が行われている。また、沿岸の至る所で飼付漁業(一定場所に餌をまいて一本釣りで釣る漁業、9~11月、12月又は翌年1、2月)が行われている。

20

中 甌 港 (31° 50′ N 129° 51′ E) (海図W209、W1260) (JPNKK)

港種 港則法適用港

25 **概要** 上甌島の南西部にある中甌浦全域を港域とし、浦奥に防波堤に囲まれた**中甌漁港**の船だまりがある。この港は南南西方に広く開口し、南寄りの風にさらされるので、台風時の避泊には適さないが、冬季の北西季節風時には3,000t級の船舶が避泊できる。

気象 春季~夏季には南東の風、秋季~冬季には北西~北の風が多く吹く。

海象 潮流は、上げ潮流は南方から串埼に当たって北西岸沿いに湾内に流入するが、浦の中央部から内方は流れがない。下げ潮流は、上げ潮流の逆に流れる。

目標

地物名	概位	備考
橋	31° 49.8′ N 129° 50.7′ E	甌大明神橋、高さ約15m、白色、串瀬戸

30 **針路法** 巡視船(335t)は**甌大明神橋**を船首目標として針路335°で進航し、中甌港倉妻《クラツマ》防波堤灯台(31° 49.6′ N 129° 51.2′ E)を右正横に見て針路020°に変針し、さらに続航し、フェリー岸壁基部南側を船首目標とし、針路060°に変針して港内に向かう。

錨地 港域内の中央部は好錨地であるが、漁港防波堤の前面約600mで水深10~12.8mの所が特に良く、

内海港 (31° 45′ N 131° 29′ E) (海図W181) (JP UCH)

港種 港則法適用港

概要 油津港の北方約 11Mにある。東防波堤、沖防波堤（南西端に灯台がある）及び南防波堤（東端に灯付立標がある）に囲まれ、南方に開口している。500 t 級の貨物船及び小型タンカーが出入港する。

5 目標

地物名	概位	備考
タンク群	31° 45.5′ N 131° 28.6′ E	
巾着島	31° 44.3′ N 131° 28.4′ E	高さ 74m、灯台がある。

針路法 南東方から入港する場合は内海港導灯 (31° 45.4′ N 131° 28.2′ E) の 2 灯一線 325° 上を航行して港口に接近し、内海港沖防波堤灯台 (31° 45.1′ N 131° 28.5′ E) 正横後、港内に入り、以後水路中央を通り適宜港奥に向かう。東寄りの風の強吹するときは、港口付近の礁脈に吹き寄せられる傾向があるので操船に十分注意を要する。

10 港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (G/T×隻)	備考
第 2 号岸壁 (-5.5m)	31° 45.5′ N 131° 28.4′ E	165	0.5~1.5	1,000×1	

補給 清水の補給が可能。

宮崎港 (31° 55′ N 131° 29′ E) (海図W1272) (JP KMI)



(2019年9月撮影)

港種 港則法適用港、重要港湾

概要 大淀川河口の北側にある築造された港であり、港口は北東方に開口している。

15 宮崎空港が港の南西方約 3kmにある。

航行上の注意 那覇港西方沖合に、さんご質の白砂と小石から成る3小島があり、これらを総称し**慶伊瀬島**〔チーピシ〕という。東部にある**神山島**（高さ11m、東端付近に灯台がある）は干出さんご礁上にあつて、平らで高潮時には二分する。西部にある**ナガンヌ島**（高さ8m、南西方及び北西方に灯標がある）は広範囲に延びる干出さんご礁の東部にあり、この礁内に露出沈船がある。南部にある**クエフ島**（高さ2m、南西方に灯標がある）も他の2島と同様干出さんご礁上にある。神山島及びナガンヌ島は、採砂のため島の形が大きく変化し、神山島は高潮時には、灯台のある付近を残して水面下に没するという。これらの島の南西方に最小水深12.4mのさんご礁がある。

航泊禁止 引火性危険物積載タンカー（タンク船を含む）の引火による事故を防止するため、一般船舶は港内に停泊中の同タンカーから30m以内の海域に立入ることが禁止されている。同タンカーは、港内停泊中、「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。（令和3年3月30日 港長公示第3-9号）

糸満漁港 (26° 07.8' N 127° 39.5' E) (海図W222^A、W1276)



(2019年11月撮影)

概要 沖縄島南西端の喜屋武《キャン》埼の北方約3Mにある漁港である。

目標

地物名	概位	備考
与座岳	26° 07.5' N 127° 42.2' E	高さ168m、 タンクとドーム（いずれも薄青色）がある。

水路 シバナサキ (26° 06.6' N 127° 39.1' E) の北西側から北東方へ向かう南側の水路と、シバナサキの北北西方0.7M付近から東方へ向かう北側の水路があり、共に水路に沿って灯浮標で標示されている。両水路は水深約7m以上(南側水路の水深はシバナサキ北方約200mの水深4.8m (26° 06.8' N 127° 39.0' E) 及び北北東方約740mの水深5.2m (26° 07.0' N 127° 39.3' E) を除き) 幅約120mで狭い。

港湾施設 第2(北)、第3防波堤に囲まれた港内は、水深4~6mで、港内の北岸には係船能力500t級の岸壁(水深5m)がある。

修理 5,000tまで修理できる造船所がある。

航行上の注意 喜屋武埼西方沖合6.5Mに円形干出さんご礁のルカン礁がある。北端付近にルカン礁灯台(26° 06.6' N 127° 32.0' E、レーダ反射器付)がある。